

第2学年 国語科学習指導案

日 時 平成30年11月6日(火) 5校時
 学 級 一関市立東山中学校 2年B組
 (男子12名 女子11名 計23名)
 場 所 2年B組教室
 授業者 教諭 久保謙一郎

- 1 単元名 「論理を捉えて」
 教材名 「君は『最後の晚餐』を知っているか」

2 単元について

(1) 教材について

本教材はレオナルド・ダ・ヴィンチの絵画「最後の晚餐」について、科学的な視点を示しながら筆者の考え方やものの見方が述べられた評論文である。

本教材は大きく序論・本論・結論からの構成となっており、本論部分においては、「解剖学」「遠近法」「明暗法」の三つの科学的視点から分析され、筆者の価値づけである「かっこいい。」の判断材料としている。また、比喩表現をとるところどころに用いたりすることによって、内容を理解しやすくしているとともに、「かっこいい。」という平易な言葉を用いて価値づけたりするなど読み手を引き付けるための様々な工夫が見られる作品である。

(2) 生徒について

生徒は、1年生「ダイコンは大きな根?」「ちょっと立ち止まって」の学習において文章の構成や展開、表現の特徴について自分の考えをもつ学習をしてきている。また、2年生では、「生物が記録する科学」の学習において文章の構成や、事実と考えの示し方に着目して、わかりやすい説明の仕方の工夫について学習を行ってきている。生徒は筆者の主張を文章の構成や展開などに着目して読むことができるようになってきているが、構成や展開の工夫によさについて自分の考えをもつことについては十分とは言えない状況である。

研究仮説に関わる実態としては、読み取ったことをもとに豊かに表現する力に落ち込みが見られるので、根拠をもとに意見を書く学習活動の充実が課題として挙げられる。

また、今年の6月28日に全校生徒を対象に実施したアンケート調査における、国語の「話し合い」に係る結果は次の通りであった。

質問 学年	6 「授業中見取、ペアやグループで話し合うことが好きだ・どちらかといえば好きだ」とプラス傾向の回答	8 「授業中見取、他の人の意見を聞くとき見取、自分の考えと比較しながら聞いている・どちらかといえば聞いている」とするプラス傾向の回答	9 「授業中見取、他の人に自分の思いや考えを話すとき見取、理由をつけるようにしている・どちらかといえばつけている」とするプラス傾向の回答
1年生	85.4%	78.0%	82.9%
2年生	72.3%	53.2%	52.2%
3年生	46.9%	58.2%	50.0%

質問8（他の人の意見を聞くときに自分の考えと比較しながら聞いている）2学年の生徒は全校の中で53.2%と最も低く、質問9（他の人に自分の思いや考えを話すときに理由をつけて話している）2学年の生徒は1学年の82.9%より30ポイント低い結果となった。

(3) 指導について

本単元は「C読むこと」の「ウ文章の構成や展開，表現の仕方について，根拠を明確にして自分の考えをまとめること」を重点とする。そのために言語活動例「イ説明や評論などの文章を読み，内容や表現の仕方について自分の考えを述べること」を具体化し，「筆者のものの見方や考え方について考えを述べる」という言語活動を設定した。

第1次では，初めて読む評論の教材であるので，学習の見通しをもたせるために，評論を読むにあたって教科書の「学習の窓」を用いて評論の学習について確認させる。

第2次では，はじめに，筆者が「かっこいい。」と評したことの根拠となる三つの科学的な技法の特徴を理解する活動を行い，絵画への効果について捉えさせる。次に根拠を明確にして考えをまとめる学習を行い，評論文に書かれている内容や，表現の仕方について読み取る学習を取り入れ，筆者の評に対して自分の意見をもたせる。

また，生徒が，自分の考えをもとにペアやグループでの話し合い活動を行うことができるように，「話し合うテーマ」を明確にし，ねらいをもった話し合いの場を位置づけ，他者との関わりの中で，見方や考え方を広げるとともに，それに対する自分の感想や意見をもたせたい。話し合い活動では，聞き方のポイントとして，他の人の考えと自分の考えの共通点や相違点を意識させることにより，自分の考えを深めさせる。

3 単元の指導目標と評価規準

(1) 単元の目標

ア 「最後の晚餐」の魅力に気づくとともに，評論の文章を読む楽しさを味わい，自分のものの見方や考え方を広げようとする。 (国語への関心・意欲・態度)

イ 「最後の晚餐」の魅力を読者に伝えるための文章の構成や展開，表現の仕方について，根拠を明確にして，自分の考えをまとめることができる。 (読むこと ウ)

ウ 語句の効果的な使い方について理解を深め，表現に役立てることができる。 (伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ)

(2) 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
「最後の晚餐」の魅力に気づくとともに，評論の文章を読む楽しさを味わい，ものの見方や考え方を広げようとしている。	語句や述べ方に着目して，筆者の考える「最後の晚餐」の魅力や絵画の見方を読み取り，自分の考えをもつことができる。(読ウ)	評論の文章を読む際に，重要な役割を果たしている抽象的な概念を表す語句に着目し，その語句が表す具体的な中身を考えることができる。 (言語イ (4))

4 単元の指導計画（全5時間）

次	時	主な学習活動	指導上の留意点	◇評価規準 ◆方法
一	1	本文を読んで大まかな内容をつかみ、感想を書く。	・「最後の晚餐」の二つの画像を見て、どちらが修復後のものか話し合わせる。	◇ 「最後の晚餐」の魅力に気づかせるとともに、評論の文章を読む楽しさを味わわせ、ものの見方や考え方を広げられる。 (関意態) ◆ 本文を読み見取り、感想と筆者の書きぶりについて気づいたことや疑問点を書いているか、ワークシートから見取る。
	2	「最後の晚餐」のどんなところに、「解剖学」「遠近法」「明暗法」が使われているのか確認する。	・「解剖学」「遠近法」「明暗法」の、絵への効果を確認させる。特に「遠近法」については、絵に消失線を書き込ませる。	◇ 文章の構成や工夫について、根拠となる部分をあげて自分の考えをもっている。(読ウ) ◆ 三つの科学的な技法の特徴を理解し見取り、その絵画への効果について考えているか見取り、ワークシートから見取る。
二	3	「最後の晚餐」が「かっこいい。」と筆者が考える理由をまとめる。	・本文から筆者が「最後の晚餐」を評している表現を書かせる。	◇ 文章の工夫について、根拠となる部分をあげて自分の考えをもっている。(読ウ) ◆ 筆者の論の進め方の工夫について見取り、根拠をもって自分の考えをもっているか、ワークシートから見取る。
	4 (本時)	「最後の晚餐」が「かっこいい。」と述べた筆者の考えに対して自分の考えをまとめ、グループで交流し合う。	・論点を二つ与える ① 「最後の晚餐」は「絵画の科学が生み出した新しい絵」という筆者の考えについてどう思うか。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">共感(納得)できる 解剖学、遠近法、明暗法の三つの科学を使い、それまでになかった描かれ方をした絵だから。</div> ② 筆者の「かっこいい。」という評に共感できるか。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">共感できる 筆者の言うとおり、「科学が駆使されて描かれている」ところが「かっこいい」と感じるから。 共感できない この絵に対して「かっこいい。」という言葉では軽い感じがする。「圧倒される」という言葉の方が合うと思う。</div>	◇ 筆者の「最後の晚餐」に対する評について、自分と他者の考えの比較・検討を通して、根拠をもつことができる。(読ウ) ◇ 話合いの場面で、根拠をもって自分の考えを発表することができる。(関意態) ◆ 筆者の「かっこいい。」という考えに、共感できるか共感できないのか、根拠をもって自分の考えをもつことができているか、ワークシートから見取る。
	5	「本当の『最後の晚餐』は、21世紀の私たちが初めて見た」という筆者の考えに対して自分の考えをまとめ、グループで交流する。 学習全体を振り返る。	・論点を与え、前時のように筆者の考えに対して自分の考えをまとめ、グループで交流しあう。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">共感できる 描かれた当時は絵の細部に目をうばわれていたと思う。絵の全体がよく見えるようになった現代の方が、ダヴィンチが伝えたかったことが伝わったから。 共感できない 描かれた当時の絵の方が見取、色がはっきりして細かい書き込みが分かり、ダヴィンチが伝えたいことが伝わったと思うから。</div>	◇ 自分の考えを、根拠を明らかにして書くことができる。(読ウ) ◇ 文章中の語句の用い方や表現の仕方に着目し、自分の考えをもつことができる。(言語イ(イ)) ◆ 前時を振り返り、筆者のものの見方や考え方をまとめているか、ワークシートから見取る。

5 本時の指導構想

(1) 本時の目標

- ア 筆者の「最後の晚餐」に対する評について、自分と他者の考えの比較・検討を通して、根拠をもつことができる。
- イ 話し合いの場面で、根拠をもって自分の考えを発表することができる。

(2) 本時の評価規準

観点	A 十分満足できる	B 概ね満足できる	支援を要する生徒への手立て
読む能力	筆者の「最後の晚餐」に対する評について、自分の言葉で根拠を明らかにして、考えをもつことができる。	筆者の「最後の晚餐」に対する評について、自分と他者の考えの比較・検討を通して、根拠をもつことができる。	筆者の評について、意見をもてない生徒には、第1時で書いた自分の考えを振り返らせる。
関心 意欲 態度	話し合いの場面で、根拠をもって自分の考えを、積極的に発表することができる。	話し合いの場面で、根拠をもって自分の考えを発表することができる。	ワークシートに記入したことをもとに、話し合いに積極的に参加するように促す。

(3) 本時の指導構想

前時で学習した内容を踏まえ、「最後の晚餐」は「カッコいい。」と評した筆者の考えに「共感できる」「できない」など自分なりの考えをもたせる。

個別、グループ、全体と、学習形態を工夫して自分なりの考えを発表させるとともに、他との交流を通して互いの考えを認め合ったり、自分の考えを深めさせたりする。

(4) 本時で用いる仮説の手立て

ア 仮説(1) ① 話し合う必要の高いテーマ設定

論点を与えることで共通の話題となり、話し合い活動が活発になると考えた。

イ 仮説(1) ③ 話し合いの収束方法

筆者の「最後の晚餐」を評した「カッコいい。」について、「共感できる」「できない」の二つの立場が予想され、他の人の考えと自分の考えの共通点や相違点を意識させたうえで、自己の意見を形成するので、オープンエンドの形とする。

ウ 仮説(2) ① 自分の意見に根拠をもたせる

自分の考えをもったうえで、他者の意見を聞き、相違点や類似点について比較しながら話し合いに臨ませるようにしたい。

エ 仮説(2) ③ 思考の過程を可視化することについて

思考過程の可視化をはかるため、話し合い活動の場面でホワイトボードを使う。

(5) 本時の展開 (4/5時間)

段階	学習内容	学習活動	形態	指導上の工夫および留意点 ◇本時のねらいの評価 ☆研究仮説の実践
導入 (5分)	1 前時の学習の復習 2 学習課題の設定	1 前時の内容を振り返る。 2 学習課題をとらえる。	一斉	・学習シートに記入する。
<p>筆者の「最後の晚餐」に対する考えに対して自分の考えをまとめ、グループで交流しよう。</p>				
展開 (40分)	3 自己の考えの形成 4 グループでの交流 5 発表	<p>3 論点を二つ提示し、筆者の考えについて自分の考えをまとめさせる。</p> <p>① 「最後の晚餐」は「絵画の科学が生み出した新しい絵」という筆者の考えについてどう思うか。</p> <p>② 筆者の「かっこいい。」という評に共感できるか。</p> <p>4 個人で考えたことをグループで話し合ってみてまとめさせる。</p> <p>論点①</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>共感(納得)できる 解剖学、遠近法、明暗法の三つの科学を使い、それまでになかった描かれ方をした絵だから。</p> </div> <p>論点②</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>共感できる 筆者の言うとおり、「科学が駆使されて描かれている」ところが「かっこいい。」と感じるから。</p> <p>共感できない この絵に対して「かっこいい。」という言葉では軽い感じがする。「圧倒される」という言葉の方が合うと思う。</p> </div> <p>5 グループの代表者に発表させる。</p>	個別 グループ 一斉	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>☆仮説(2)①【根拠をもたせる】</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>☆ 仮説(1)①【テーマ設定】 4人班で意見交換する。話を聞く時、他の人の考えと自分の考えとの共通点や相違点を意識させながら聞くようにさせる。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>◇ 話合いの場面で、根拠をもって自分の考えを発表することができる。(関意態) ワークシートの記述で見取る。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>☆ 仮説(1)③【話合いの収束方法】 他の人の考えと自分の考えの共通点や相違点を意識させ自分の意見をもたせるのでオープンエンドにする。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>☆仮説(2)③【思考の可視化】 話合いでまとめた考えをホワイトボードに記入する。</p> </div>
終末 (5分)	6 振り返り ・他の人の考えも参考にして見取、振り返る。	<p>6 グループでの話合い、発表を振り返り、「今日学んだこと」を記入する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>筆者は「最後の晚餐」を「かっこいい。」と評している。でも私は、手の描き方に心情まで書き表されたこの絵を「かっこいい。」ではなく「素晴らしい絵」だと感じた。しかし「かっこいい。」と言う言葉は身近で、読者が堅苦しくなく読める効果があるように思う。</p> </div>	個別	<p>・学習シートに記入する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◇ 筆者の「最後の晚餐」に対する評について、自分と他者の考えの比較・検討を通して、根拠をもつことができる。(読ウ) ワークシートの記述で見取る。</p> </div>

(6) 板書計画

論点① 納得できる

解剖学, 遠近法, 明暗法の三つの科学を使った描かれ方をした絵だから。

論点② 共感できない

この絵に対して「かっこいい。」という言葉では軽い感じがする。「圧倒される」という言葉の方が合うと思う。

論点① 共感できる

解剖学, 遠近法, 明暗法の三つの科学を使い, それまでになかった描かれ方をした絵だから。

論点② 共感できる

筆者の言うとおろ, 「科学が駆使されて描かれている」ところが「かっこいい。」と感じるから。

各グループのまとめ(例)

② 「かっこいい。」という評に対して共感できるか。

論点

① 「最後の晚餐」は「絵画の科学が生み出した新しい絵」という布施さんの考えについてどう思うか。

君は「最後の晚餐」を知っているか

布施英利

筆者の「最後の晚餐」に対する考えに対して、自分の考えをまとめ、グループで交流しよう。

(7) ワークシート

② 筆者の「かっこいい。」という評に共感できるか。自分の考えをふまえて書こう。

論点① 「最後の晚餐」は「絵画の科学が生み出した新しい絵」という布施さんの考えについてどう思うか。

君は「最後の晚餐」を知っているか

() 組 () 番 名前 ()

学習課題

今日学んだこと

各グループの発表を聞いて考えたこと